

平成 29 年秋期 IT ストラテジスト試験合格発表 分析コメントと今後の対策

(株) アイテック IT 人材教育研究部 2017,12,20

10 月 15 日 (日) に行われた平成 29 年秋期の情報処理技術者試験について、応用情報技術者ほか高度系 5 試験の合格発表がありました。同時に発表された得点分布などの統計データの分析をもとに、IT ストラテジスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

■IT ストラテジスト試験試験 (ST)

[平成 29 年秋期の IT ストラテジスト試験 統計情報]

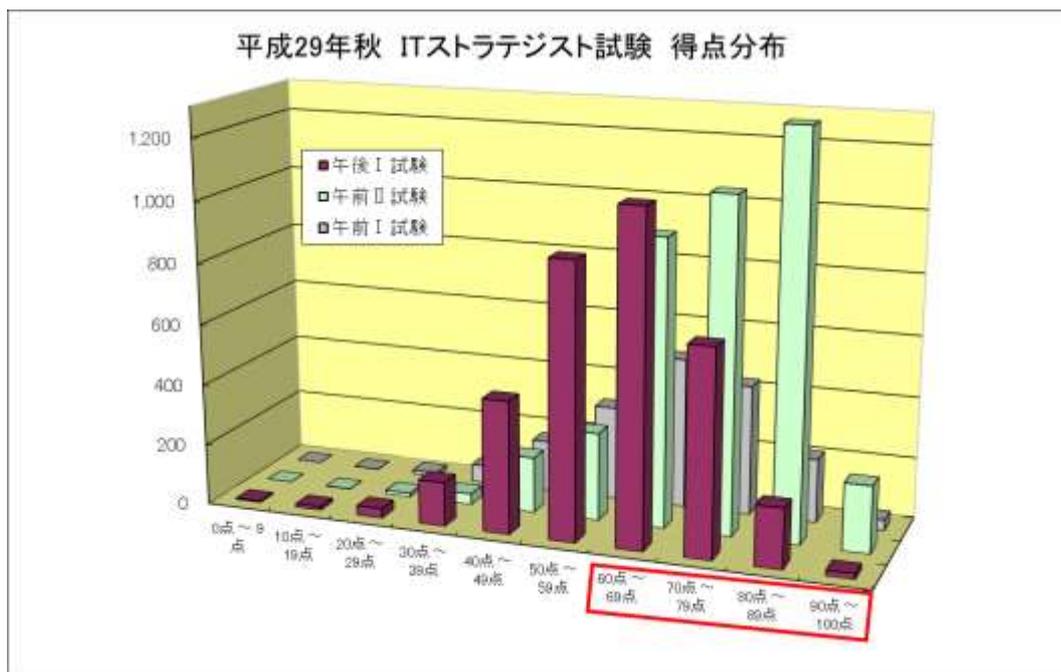
応募者	6,984 人
受験者	4,747 人
合格者	700 人
合格率	14.7%

平成 29 年秋期の IT ストラテジスト試験の合格率は 14.7% で前回の 14.0% に対して微増でした。次に発表されたスコア分布の分析とグラフを示します。

(平成 29 年秋 IT ストラテジスト試験 スコア分布)

得点	午前 I 試験	午前 II 試験	午後 I 試験	午後 II 試験	合格者
0 点 ~ 9 点	0	0	5	D 289	
10 点 ~ 19 点	1	1	12		
20 点 ~ 29 点	13	12	32	C 338	
30 点 ~ 39 点	58	36	145		
40 点 ~ 49 点	168	183	434	B 612	
50 点 ~ 59 点	308	288	895		
60 点 ~ 69 点	493	936	1,073	A 700	
70 点 ~ 79 点	426	1,082	669		
80 点 ~ 89 点	209	1,338	195		
90 点 ~ 100 点	35	219	18		
計	1,711	4,095	3,478	1,939	700
対前試験比率		239.3%	84.9%	55.8%	36.1%
午前 I 免除者 (概数)	3,036	64.0%			

合格者数	700	採点者数の割合	合格者数との差
午前 I 60 点以上合計	1,163	68.0%	463
午前 II 60 点以上合計	3,575	87.3%	2,875
午後 I 60 点以上合計	1,955	56.2%	1,255
午後 II -A 評価	700	36.1%	0



午前I試験免除の人も増えてきましたが、得点分布を分析してみると、今回午前I試験の免除者は概算で3,036人(64.0%)おり、受験者の6割以上の方が午前IIからの受験となりました。

午前I試験で基準点(60点)以上の人は1,163人(受験者の68.0%)で、前回の67.2%から微増でした。今回は少し難しい問題が多かったといえますが、その影響はなかったといえます。

午前II試験で基準点以上の人は3,575人(受験者の87.3%)でかなり高い率といえ、前回の87.4%とほぼ同じ結果になっています。

午後I試験で基準点(60点)以上取れた人は56.2%で、前回試験の50.8%と比べて5%ほど上がっています。4回ぶりに増加しました。

午後IIの論述式試験で合格点(A評価)を取ることができた人は採点対象者の36.1%で、こちらは前回試験38.0%より少し下がりました。

■平成29年秋期 ITストラテジスト試験 出題内容について

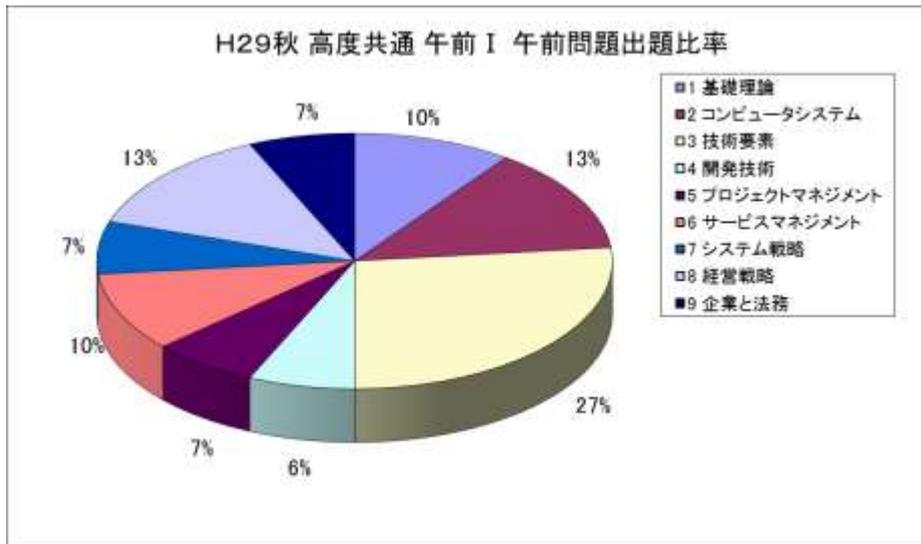
(午前I試験(高度試験の共通知識問題))

- 高度試験に共通して出される問題30問は、従来どおり、すべて応用情報技術者試験(AP)から選ばれています。今回の問題内容は、考察問題が3問に減り(前回8問)、他の計算問題、文章問題、用語問題が増えました。基礎理論の問題が例年より解答しやすい内容でしたが、新傾向問題が少し難しいことから、全体としては同じ難易度といってよいと思います。

- 過去問題の比率は約6割で従来どおりの比率です。
- 分野別の出題比率は前回と同じで、出題範囲の中で23ある中分類からまんべんなく出題されていますが、重要な内容(中分類)からは複数出題されています。現在はセキュリティ分野を重視した出題になっており、出題数は前回と同じ4問でした。
- 新傾向問題は次の5問で、前回より1問ですが増えています。

- 問8 アクセシビリティ設計に関する規格の適用目的
- 問14 サイバーレスキュー隊(J-CRAT)の役割
- 問24 情報システムの開発で多段階契約を採用する目的
- 問27 国際基準に適合した製品を製造及び販売する利点
- 問28 IoT技術のエッジコンピューティングの説明

平成 29 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



(午前 II 試験 (専門知識問題))

IT ストラテジストの午前 II 試験の重点出題分野は、システム戦略、システム企画、経営戦略マネジメント、ビジネスインダストリ、企業活動の 5 分野ですが、実際には経営戦略マネジメントが 10 問と最も多く、他の重点分野の 1~4 問と大きく出題数が異なります。

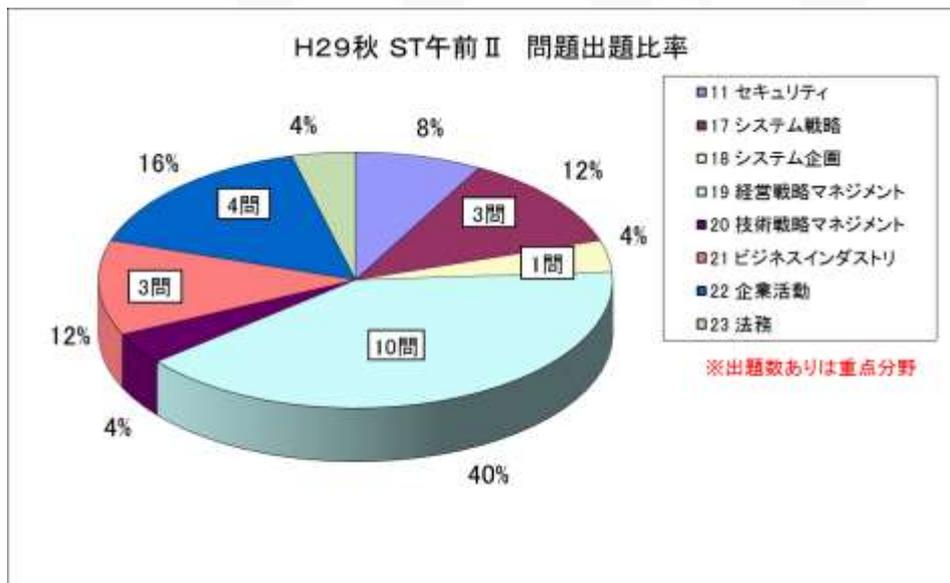
新傾向問題としては次の問題がありましたが、例年に比べて少なかったといえます。

問 9 コーズリレーテッドマーケティングの特徴

問 12 ペネトレーション価格戦略の説明

問 17 フリーミアムの特徴

平成 29 年秋期の IT ストラテジスト試験 午前 II 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後Ⅰ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。解答で記述する文字数は、今回 180～215 字で前回とほぼ同じでした。問題事例は様々な業種に渡っています。問 4 では人工衛星の事業化が題材になっていますが、詳しい業務知識がなくても解答できる内容になっています。

問 1 IoT を活用したビジネスモデル構築（大型機器製造業） やや易～普通

各部課題，顧客の状況，業務プロセスの見直し，サービス事業拡大，設計レビューのポイントと担当者の役割，累積工数の算出，定例ミーティングの協議内容，強みを生かしたサービス，共同の実証検討

問 2 飲料メーカーの合併に伴う物流業務の見直し（飲料メーカー） やや易～普通

物流センターの運用と見直し，業務とシステムの統合，取り込む情報，統一情報，物流センターの見直し，出荷作業の効果，エリアセンタへの効果，ドライバの作業改善，活用情報，予約システムの予約枠

問 3 クレジットカード会社の保有データ活用（クレジットカード会社） 普通

ポイントシステム，営業部門・審査部門・情報システムの取組み，特典対象者の抽出，加盟店側選択，債券割引額減少効果，外部提供データ，特典システムへの追加機能，クレジットスコアリング

問 4 超小型人工衛星の事業化（特殊カメラメーカー） 普通

人口衛星事業の体制・分析，事業性検討，要素技術の調査，事業展開・市場，早期製品化理由，技術の強み，オープンラボの利点，自社開発の条件，人工衛星の特徴，購入者の利便性

・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは次のとおりです。前回は絞られたテーマでしたが，今回はオーソドックな内容だったといえます。

問 1 IT 導入の企画における投資効果の検討について

事業概要，経営戦略，IT 導入の目的，具体的な企画，投資の重要事項・工夫，提案と評価・改善

問 2 情報システムの目標達成の評価について

システム導入目的・概要・目標値，目標達成状況，業務・システムの課題，経営層への説明，改善

問 3 組込みシステムにおける事業環境条件の多様性を考慮した製品企画戦略について

企画概要・製品特徴・事業環境の多様性，環境の要素・分析・対策，製品企画戦略，妥当性と戦略の評価

•
•
•
iTEC